

令和2年度 学校図書館基本計画(案)

56足立区立 長門 小学校 校長 會川 大和

1 学校教育目標

- 明るく元気な子 自ら進んであいさつし、体を動かして活発に遊び活動していく子
- 自ら考え学び合う子 主体的・対話的で深い学びをしていく子
- 仲よく助け合う子 人を思いやり、優しい言葉で関わり合っていく子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- 学校図書館に親しみ、読書の楽しさ喜びを味わわせ、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- 学校図書館の資料を効果的に活用し、自ら考え正しく判断する主体的学習態度を育てる。
- 読書を豊かな人生の財産としての一つとして、大切に向き合い付き合っていくことができる素地を育む。

3 学校図書館の現状(昨年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 8,627 冊 (蔵書基準冊数 8,358 冊) / 蔵書率 103.2%									
	② 新規購入図書 592 冊 / 廃棄図書 174 冊 / 増減冊数 418 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.58%	1.57%	8.2%	7.57%	12.95%	5.26%	3.05%	9.49%	3.57%	46.70%
*国基準	6%	2%	18%	9%	15%	6%	5%	9%	4%	26%
利活用の状況	① 開館時間： 全日 ※貸出し(授業時・火木金の中休み及び昼休み)									
	② 児童一人あたりの年間貸出冊数◆31.7冊(前々年度：9,154冊÷289人=約32冊)									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 77%									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① やさしい読み物に楽しみ、すすんで読もうとする意欲を育てる。 ② 学校図書館に親しみ、利用の仕方の基礎的な知識、技能を身に付ける。
今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館の利用の仕方や、本の扱い方、本の並び方等について知る。 ② 図鑑や知識の絵本などを読み、いろいろなことに興味を持って読むことができる。 ③ 学校図書館や、学級文庫の本を利用し読書の経験を重ねる。	① 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100% ② 各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ③ 一人当たり年間20冊以上の本を読む。「長門低学年パスポート」の本を10冊以上読む。
第2学年	① いろいろな読み物に楽しみすすんで読もうとする意欲を育てる。 ② 学校図書館に親しみ、利用の仕方の基礎的な知識、技能を身に付ける。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分が興味のある本、また、読み聞かせや本の紹介を参考にし、いろいろな本に興味をもち、読書することができる。 ② 図鑑や知識の絵本などを使い、自分の知りたいことを見付けることができる。 ③ 学校図書館や学級文庫を利用し、読書をする経験を重ねる。	① 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100% ② 各クラス月2回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行う。 ③ 一人当たり年間20冊以上の本を読む。「長門低学年パスポート」の本を10冊以上読む。
第3学年	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書をしようとする態度を育てる。 ② 進んで学校図書館を利用し、適切な資料や情報を集める力を養う。
今年度の成果目標	達成基準
① 教科書単元関連図書、長門パスポート、ブックトークなどを参考に、自分の興味のあることに関連した本や、今まで読んでことのないジャンルの本も読むことができる。 ② 辞典や図鑑の使い方を理解し、調べて分かったことをまとめ、説明することができる。	① 一人当たり年間20冊以上の本を読む。「長門中学年パスポート」の本を10冊以上読む。 ② 月2回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行う。

第4学年	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書をしようとする態度を育てる。 ② 進んで学校図書館を利用し、適切な資料や情報を集める力を養う。
今年度の成果目標	達成基準
① 教科書単元関連図書、長門パスポート、ブックトークなどを参考に、自分の興味のあることに関連した本や、今まで読んでことのないジャンルの本も読むことができる。 ② 百科事典や図鑑、地図帳等から分かったことを目的と形式を考えてまとめ、説明することができる。	① 一人当たり年間20冊以上の本を読む。「長門中学年パスポート」の本を10冊以上読む。 ② 月2回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行う。
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して自分の考えを広めたり、深めたりしようとする態度を育てる。 ② 学校図書館の資料を積極的に活用し、目的に応じて資料や情報を処理する力を養う。
今年度の成果目標	達成基準
① 目的に応じて、本や新聞等の資料を選んで読んだり、何冊かの本や資料を比べて読んだりして、考えを広めたり深めたりできるような読書ができる。 ② 本と合わせて、新聞、年鑑、白書、統計などの資料も利用して、目的に合わせた方法でまとめることができる。	① 一人当たり年間20冊以上の本を読む。「長門高学年パスポート」の本を5冊以上読む。 ② 月1回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行う。
第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して自分の考えを広めたり、深めたりしようとする態度を育てる。 ② 学校図書館の資料を積極的に活用し、目的に応じて資料や情報を処理する力を養う。
今年度の成果目標	達成基準
① 目的に応じて、本や新聞等の資料を選んで読んだり、何冊かの本や資料を比べて読んだりして、考えを広めたり深めたりできるような読書ができる。 ② 本と合わせて、新聞、年鑑、白書、統計、年表などの複数の資料を比較して、目的に合わせた方法でまとめることができる。	① 一人当たり年間20冊以上の本を読む。「長門高学年パスポート」の本を5冊以上読む。 ② 月1回以上、読書や調べ学習の授業を学校図書館で行う。

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ① 図書館の蔵書構成と理想時値に近づけられるよう、新規図書購入計画を作成する。
- ② 絵本以外の書架の差し込み式見出しの板の修正・追加案を考え、実行し、児童が本を探しやすくなるよう環境を整えていく。
- ③ 学級文庫の整備を春休み中に行い全クラス100冊～150冊の本を設置する。2か月ごとに低中高でローテーションを行う。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ① 仕事：図書室整備、貸出し返却業務、選書支援、払い出し、資料本収集、調べ学習等の支援、探検隊による業務、月ごとの本の掲示、学級文庫の充実、本の修理等
- ③ 読み聞かせ（1～4年生月1回程度）とブックトーク（高学年へ後期2回）
- ④ 調べ学習などの図書支援が必要な場合への柔軟な対応をする。

【その他】

- ① 読書環境の充実：朝読書（8:20-8:35）日数増 週2回から週3回（火・木・金）
- ② 読み聞かせ環境の充実：
⇒教員（担任／専科／養護・栄養士／管理職の全職員での対応：月1，2回の実施）
⇒支援員（1～4年生月1回・高学年は後期2回ブックトーク）
⇒図書ボランティア（ブラックシアター10月：全学年対象、パネルシアター：1年生対象、昔話パネルシアター：2年生対象）
- ⑤ 読書旬間（春、秋の年2回）の取り組み。
- ⑥ 読書の幅を広げるために長門小学校100冊パスポートの取り組みを行う。
低学年40冊／中学年30冊／高学年30冊、各目標達成への認定証と賞状の朝礼での表彰による意欲喚起をする。
- ⑤ 司書教諭による「調べる学習」全学級指導の実施：新たな時数軽減モデル実施校による司書軽減 2H対応。
- ⑥ 夏季休業中の課題として、調べる学習コンクールへの全員参加。
- ⑦ 図書ボランティア（週2回貸出し返却の支援 図書室の季節の装飾 ブッカーかけ）
- ⑧ ⑧ 貸出し冊数は、一人2冊（期間は1週間）長期休業中は一人3冊貸出しを行う。